

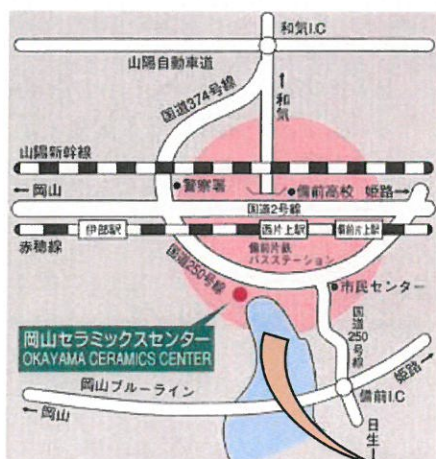
平成26年度

(一財) 岡山セラミックス技術振興財団 研究報告会

— ご 案 内 —

平成26年度における研究成果報告会を次のとおり開催しますので、地域企業の方々、御関係の方々に多数御参加いただきたく御案内します。

- 開催日時 : 平成27年 3月25日 (水) 12:45~15:05
- 会場 : 岡山セラミックスセンター セミナー室
(備前市西片上1406-18 TEL 0869-64-0505)
- 定員 : 50名
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : 別紙の様式により、平成27年 3月18日 (水) までに
FAX (0869-63-0227) でお申込み下さい。
- 申込先 : (一財)岡山セラミックス技術振興財団 事務職員 川端裕美
備前市西片上1406-18 TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Mail : erazoku@optic.or.jp
- その他 : お申込み後、御欠席の場合には、代理の方の出席をお願いすると共に事務局に必ず御一報くださるようお願いいたします。
- 会場案内図



- ・ JR赤穂線で45分西片上駅
下車徒歩約8分
- ・ 岡山市内から車で約1時間



■ プ ロ グ ラ ム

時 間	内 容
12:45-12:50	開会あいさつ (一財)岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓
12:50-13:05	木質系炭素の耐火物への応用-CaCl₂添加により結晶化させた木質炭素のラマン解析 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 前 田 朋 之 CaCl ₂ 水溶液に含浸した樹皮を炭化して得た木質炭素の X 線回折および Raman 散乱スペクトルをそれぞれ測定した。本研究では、これらの結果と CaCl ₂ 添加により結晶化させた木質系炭素の性状について報告する。
13:05-13:20	合成 MgB₂ の CO 雰囲気下での高温反応挙動-MgB₂を添加した MgO-C 材質の特性 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 田 中 博 章 合成 MgB ₂ を CO 雰囲気下で焼成した時の高温反応挙動を結晶相変化から検討した。また、MgB ₂ を添加した MgO-C 材質の特性を検討したので報告する
13:20-13:35	CO 雰囲気における Al 化合物による炭素の生成 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 尾 形 和 信 アルミニウム化合物は CO 雰囲気による加熱により酸化物を生成する。この際、炭素が生成することは予測されているがその報告は少ない。そこで、本研究では炭素に着目し、各出発原料から生成する炭素の調査を行ったので報告する。
13:35-13:50	クロム質れんがの反応層および侵食に及ぼすガラス組成の影響 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 前 田 朋 之 各種産業廃棄物の中でも、放射性元素を含む廃液はホウケイ酸ガラスで包埋された後廃棄される。ここで使用されるれんがはアルミナ-クロム質電鍍れんがである。本研究では、ホウケイ酸ガラスによるれんがの浸潤・溶損過程を把握するとともに、操業中に発生する白金族の有無による浸潤・溶損の変化を調査した結果を報告する。
13:50-13:55	質疑応答
13:55-14:00	休憩
14:00-14:15	加圧および高温雰囲気下における酸化物による Al₄SiC₄の酸化挙動 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西 川 智 洋 MgO あるいは Al ₂ O ₃ との混合物を通电加圧加熱させることによって耐火物における Al ₄ SiC ₄ の酸化反応をモデル化し、酸化物の格子酸素による Al ₄ SiC ₄ の高温酸化過程を微構造から検討する。
14:15-14:30	Al₄SiC₄の酸化反応とその機構 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西 川 智 洋 Al ₄ SiC ₄ の完全酸化反応は Al ₂ O ₃ のほかに SiO ₂ あるいはムライトを生成する。このうち SiO ₂ やムライトは酸化雰囲気で高い酸化保護膜となることが知られているが、保護膜の形成による酸化形態の違い(保護酸化あるいは継続酸化)で大きく異なる。本研究は Al ₄ SiC ₄ の酸化過程において保護膜が形成されるか、空気雰囲気による Al ₄ SiC ₄ の酸化反応の速度を評価することを目的とした。
14:30-14:45	Al₄SiC₄材質の高温における緻密組織形成 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 星 山 泰 宏 新規複化合物である Al ₄ SiC ₄ の耐火物への応用に関する研究の一環として、Al ₄ SiC ₄ 単味からなる材質について、高温で形成される緻密組織について検討した結果を報告する。
14:45-15:00	Al-Zr-C 系化合物の合成～原料および合成経路の多様化探索～ (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西 川 智 洋 炭素含有耐火物への新たな添加剤を模索するために、アルミニウムとジルコニウムの複合炭化物に注目している。原料としてジルコニウムの単体は高価であり、そのまま使用することは危険をとまなう。本報では炭化ジルコニウムを原料としたときの Al-Zr-C 系化合物の合成ならびに、ジルコニアから炭化ジルコニウムを合成する合成経路についても報告する。
15:00-15:05	質疑応答
15:05	閉 会

平成26年度 (一財)岡山セラミックス技術振興財団
研究報告会参加申込書

平成27年 月 日

会社名 :
申込者 :
連絡電話 () -

案内のあった報告会に次のとおり参加を申し込みます。

No	参加者名	所属/役職	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			